

SAMPLE

特集レポート No. 067

婚活アプリ市場の現状

Strictly Confidential

 Info Mart Corporation

2017年 6月28日

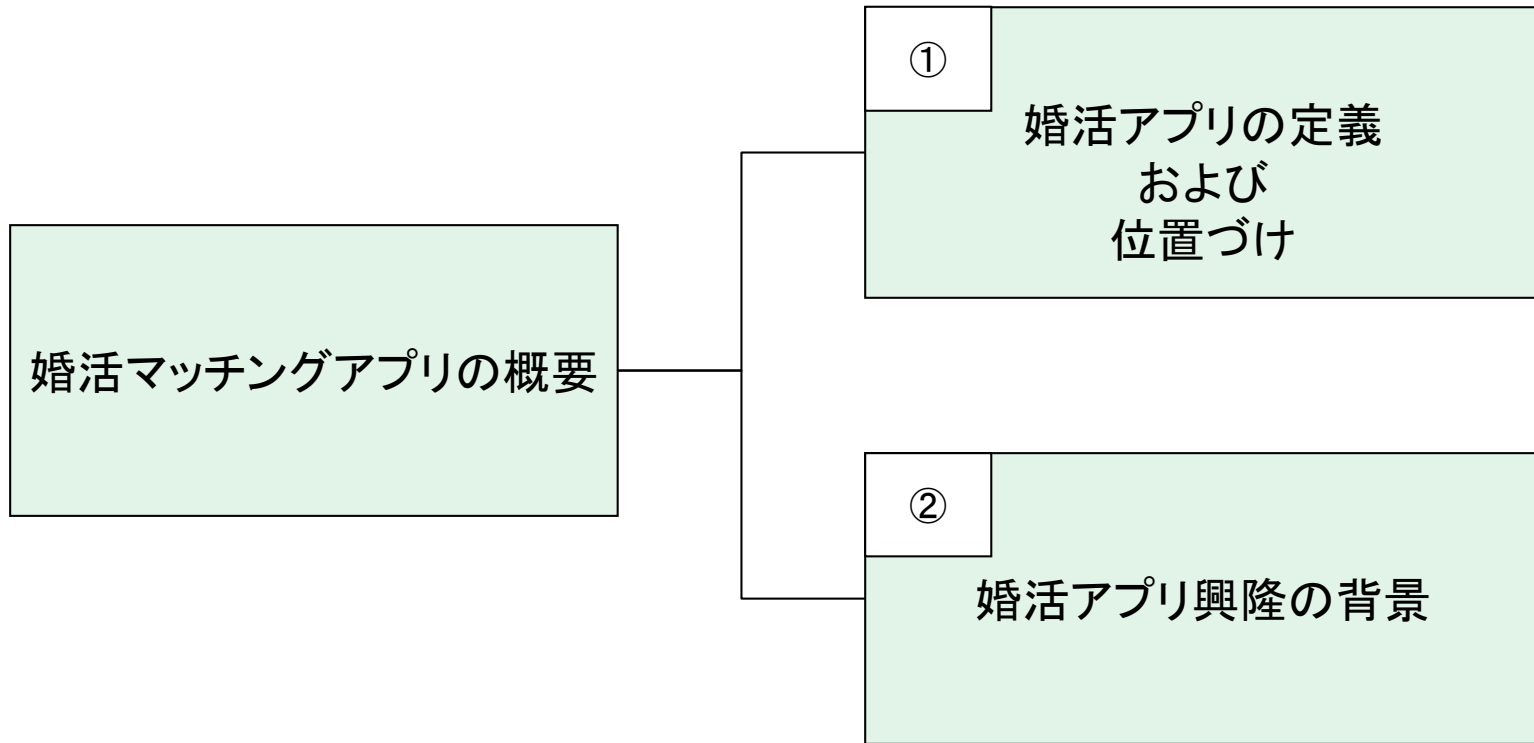
はじめに

- スマートフォンの普及、マッチング精度の向上などを背景に「婚活・恋愛マッチングアプリ」が普及し始めており、いわゆる出会い系サイトとは一線を隔し、注目を集めている
- 結婚願望を持つ人々が一定数存在している一方で、出会いの機会がない場合が多く、近年の「婚活・恋愛マッチングアプリ」の興隆の背景となっていると考えられる
- 本レポートでは、婚活・恋愛マッチングアプリの仕組みや普及しつつある背景を整理し、業界の今後の成長への課題を考察する

本資料の流れ



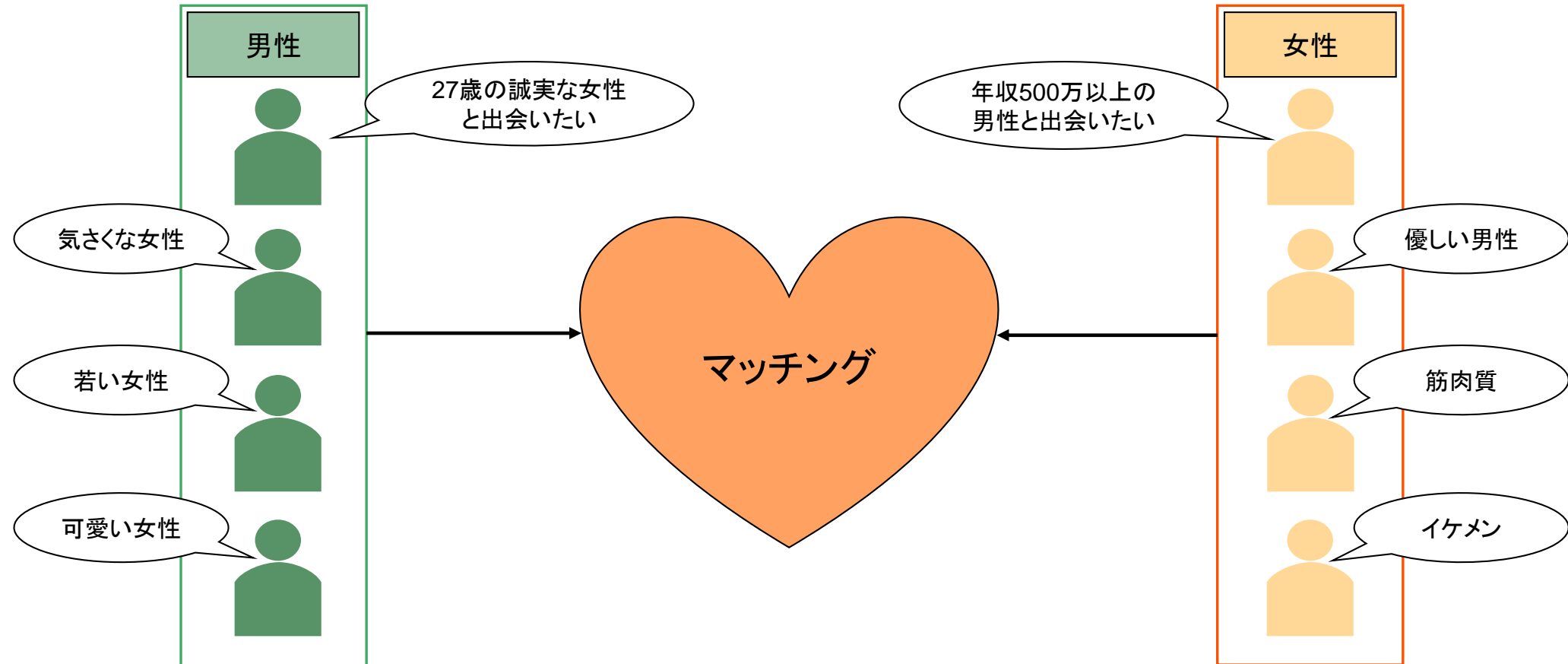
- I. 婚活マッチングアプリの概要
- II. 婚活マッチングアプリ運営企業のビジネスモデル
- III. 婚活マッチングアプリの課題と今後の見通し



① 婚活アプリの定義
および
位置づけ

婚活マッチングアプリとは

- 結婚相手を探す目的として使用され、面識のない男女がアプリケーション上でお互いの情報を共有し、コミュニケーションをとることを可能にしたマッチングサービス



婚活関連サービスの類型と婚活マッチングアプリの位置づけ

- 婚活マッチングアプリは、婚活関連サービスの一つとして位置付けられる
- 婚活アプリと恋愛アプリのサービス上の違いはなく、利用者の結婚願望が強いかが異なる

提供機能	サービス	概要	サービスの費用例
イベント 開催	婚活パーティ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 婚活パーティとは、「結婚に前向きな男女20～30人がダイニングバーなどの会場に集まって直接コミュニケーションをとり、交際相手を見つけるパーティー」 	<OTOCONの例> <ul style="list-style-type: none"> ■ 男性 2,000円～5,000円/1回 ■ 女性 1,000円～3,000円/1回
	街コン	<ul style="list-style-type: none"> ■ 街コンとは、街ぐるみの合コンイベントと解釈され、会場となる複数の飲食店で食べ飲み歩きが可能であり、相席となった異性との新たな出会いの場を楽しむことができる ■ 街コンの場合は、必ずしも結婚願望のある人だけが集まっているわけではない 	
マッチング サービス	婚活・恋愛マッチング サイト・アプリ	<ul style="list-style-type: none"> ■ オンラインで結婚相手や恋人を探ることができるサービス <ul style="list-style-type: none"> – サイトとアプリの違いは、利用する媒体が違うこと ■ 婚活アプリは、結婚情報サービスからの参入が多く、結婚願望の強い人がターゲットとなる ■ 恋愛アプリは、出会い系サイトの流れを汲んでいる <ul style="list-style-type: none"> – 結婚相手ではなく、交際相手を探す目的で利用される 	<ゼクシィ縁結びの例> <ul style="list-style-type: none"> ■ 月額4,298円 <Pairs の例> <ul style="list-style-type: none"> ■ 月額 2,980円～
仲介・ コンサル	結婚相談所	<ul style="list-style-type: none"> ■ 結婚を考えている人に、適した異性を紹介するサービスである <ul style="list-style-type: none"> – 相手を探すだけでなく、出会いの調整や交際から結婚までのカウンセリングなどもおこなう 	<楽天オーネットの例> <ul style="list-style-type: none"> ■ 入会金 30,000円 ■ 活動初期費用 76,000円 ■ 月会費 13,900円

注: *1. 婚活と恋愛に明確な違いはない。婚活アプリは、会員が結婚希望者であることが多い。

出所: 各社WEBサイト 2017年5月10日時点

SAMPLE版はここまでです。

続きは、業界チャンネル 特集レポート にてご覧ください。

特集レポート一覧はこちら ▶

“業界チャンネル 特集レポート”とは、

経営コンサルタントの目線で特に伸びているビジネスに注目して分析。
その成功の鍵や今後に言及し、「打ち手」を導出します。

